授業科目名	特定行為実践（チーム医療）			単位数	2	時間数	45
Course Title	Nurse designated procedures (Team medical)			必修・選択	NP必修	受講対象年	1年次
科目コード	95625805	授業の形式	講義、演習、実習	講義室等	オンデマンド授業、第6講義室＆リモート		
開設学期等	前期 土曜日 ９・10時限						

【担当教員名】	【職名／所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名／所属】	【研究室番号】	【電話番号】
安藤秀明	教授／看護学講座	WebClass	WebClass mail	吉岡政人	教授／看護学講座	WebClass	WebClass mail
利緑	講師／看護学講座	WebClass	WebClass mail	柴田聡	診療部長／秋田厚生医療センター消化器外科	WebClass	WebClass mail
酒井博崇	講師／藤田医科大学　保健衛生部	WebClass	WebClass mail	横山淳美	助教／鳥取県立大学看護栄養学部看護学科	WebClass	WebClass mail
木澤晃代	常任理事／日本看護協会	WebClass	WebClass mail	佐竹雅史	診療看護師／東北医科薬科大学病院 腎臓内分泌内	WebClass	WebClass mail
廣末美幸	診療看護師／藤田医科大学病院　NP室	WebClass	WebClass mail	永谷ますみ	診療看護師／藤田医科大学病院　NP室	WebClass	WebClass mail

授業の目的・到達目標

医療における多様な問題解決のために求められているチーム医療の実践を修得する。効率的に稼働し問題解決するチーム医療の担い手となる「良き医療人」に必要な「チーム医療」の在り方についてグループワークなどを通して、問題解決能力を養い、適切な対処が出来るようにする。

（1）問題解決に向けて多職種と効果的に協働する知識と実践能力を身につける。
（2）医療者、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる。
（3）多様な臨床場面において患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践するためのアセスメント、仮説検証、意思決定の知識と実践能力を身につける。
（4）根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直す知識と実践能力を身につける。
（5）自らの看護実践を見直しつつ、標準化する能力を身につける 。

本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目」及び「双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業科目」である。

授業の概要と進行予定及び進め方

特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（Inter Professional Work（IPw））（他職種との事例検討等の演習を含む）を学ぶ
（1）チーム医療の理論と演習　（2）チーム医療の事例検討　（3）コンサルテーションの方法　（4）多職種協働の課題

特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ
（1）特定行為関連法規　（2）特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習

根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ。
（1）手順書の位置づけ　（2）手順書の作成演習　（3）手順書の評価と改良
【事前学習】各回の授業内容について、復習する。

成績評価の方法

講義：e-ラーニングの受講/確認テスト
演習：事例検討ディスカッション/観察評価

教科書・参考書・参考文献等

教科書等	書籍名	著者	出版社

コメント

本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目である」
医療・保健活動に実務経験を有した教員（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）が、その実践経験を生かして実践的な教育を行う。

授業展開	Web受講	授業内容
第1回　8月3日　1－2時限 【担当】 柴田　聡	○	手順書の位置づけ (1) 手順書の作成／手順書の評価／手順書の改良 (2) コンサルテーション～症例：高カリウム血症～
第2回　9月28日　7－10時限 【担当】 酒井　博崇	○	チーム医療 (1) チーム医療の理論と事例検討 (2) チーム医療に必要な医療者同士のコミュニケーション (3) インフォームド・コンセント：末梢留置型中心静脈カテーテル（PICC）留置
第3回　8月3日　3－8時限 【担当】 木澤　晃代	○	特定行為研修制度 (1) 特定行為看護師研修の意義と成り立ち (2) 特定行為に係る看護師」の関連法規
第4回　10月2日、10月9日　11－12時限 【担当】 横山　淳美	○	チーム医療の実際 (1) チーム医療の理論 (2) チーム医療に必要な医療者同士のコミュニケーション (3) 多職種協働の課題
第5回　10月19日　5－8時限 【担当】 佐竹　雅史	○	透析関連における特定行為実践
第6回　9月28日　3－4、9－10時限 【担当】 廣末　美幸	○	救急外来、救急疾患における特定行為実践
第7回　9月28日　5－6、9－10時限 【担当】 永谷　ますみ	○	循環器領域における特定行為実践
第8回　オンデマンド　前期履修期間中 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	倫理とコミュニケーション (1) コンサルテーションの方法～専門外の科への依頼書作成、依頼の方法、判断～ (2) インフォームド・コンセントの理論 (3) アセスメント、仮説検証、意思決定の理論